

## 年々完成度高く 新報学校新聞 コンクール



琉球新報学校新聞コンクールで表彰された児童生徒＝14日、那覇市泉崎の琉球新報ホール



「第7回琉球新報学校新聞コンクール（第14回県中学校社会科新聞コンクール）」（主催・県学びをつくる研究会、県中学校社会科教育研究会、琉球

新報社）の表彰式が14日、那覇市泉崎の琉球新報ホールで開かれた。個人の入賞者9人のほか、各学校代表に賞状が手渡された。今回は小中合わせて4071点の応募があった。審査講評で、県学びをつくる研究会の新垣英司会長は「回を重ねることに完成度が高くなっている。読む人を引き付ける工夫がなされ、丁寧に作られていた」と評価した。

「かすり新聞」で、地元・南風原町の琉球絣を紹介し、琉球新報社長賞を受賞した仲里日菜子さん（南風原町立北丘小3年）は「絣の作り方とか、こつなどを新聞に載せることができて良かった」と笑顔で話した。